



**sojitz**

*New way, New value*

# SOJITZ IR DAY 2015

## 化学本部

**2015年12月17日**

**双日株式会社**

**化学本部長**

**田中 勤**



# 目次

- ◆ 本部概要
- ◆ 石油樹脂事業
- ◆ 合成樹脂事業
- ◆ メタノール事業
- ◆ 成長戦略（まとめ）
- ◆ 補足資料

## 将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



# 事業会社・海外拠点・人員

メディカル・  
ヘルスケア  
事業推進室

基礎  
化学品部

機能  
化学品部

資源  
化学品部

先端  
材料部

関西  
事業部

双日  
プラネット

化学品グループ

環境資材グループ

合成樹脂

国内 13社 約1,000名  
海外 33社 約 700名

中国地域  
事業会社 15社  
人員 約110名

米州地域  
事業会社 5社  
人員 約60名

欧・阿・中東・  
ロシアNIS地域  
事業会社 3社  
人員 約60名

アジア・大洋州地域  
事業会社 10社  
人員 約470名

(2015年9月末現在)

※ 従業員数は双日単体及び連結子会社の人員数



# 事業環境

中国  
生産能力の増大  
石炭化学の台頭

北米  
シェール革命

中東  
付加価値産業へ  
シフト

石油化学需給の主役交代  
供給：先進国から新興国・資源国へ

日本

- ・汎用品製造ダウンサイジング
- ・素材産業から機能性素材へシフト

## <化学本部戦略>

～伸びる海外市場での事業機会を獲得～

✓ グローバルトレードの拡大

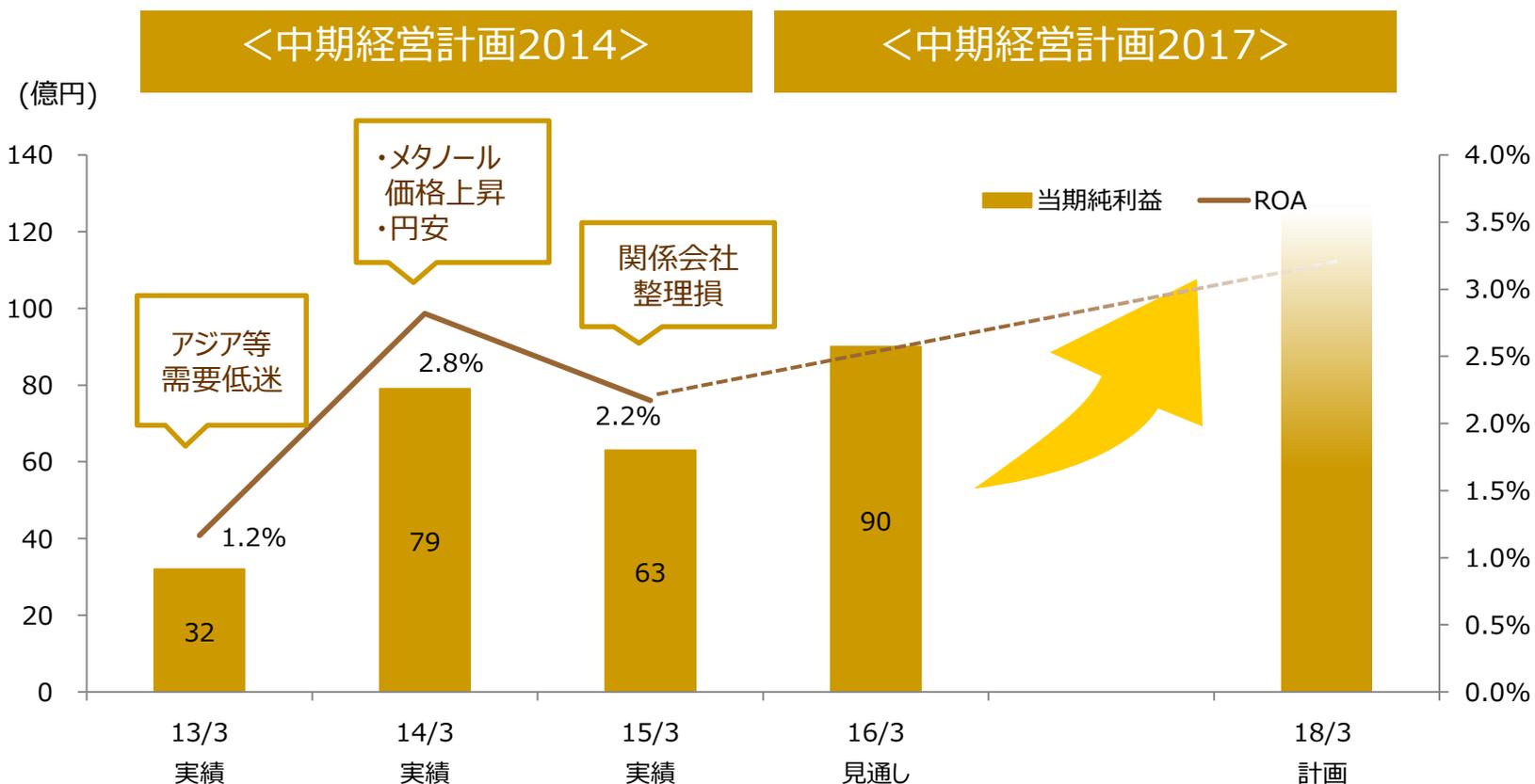
優良な顧客資産と海外ネットワーク活用し、競争力のある商品の展開

✓ トレードに基づく投融資

競争優位性のある供給ソースの確保 ～ 付加価値創造



# 業績推移と中計最終年度に向けて



総資産	2,746	2,803	2,901
-----	-------	-------	-------



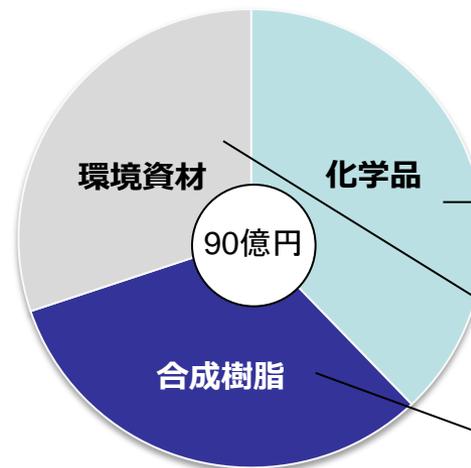
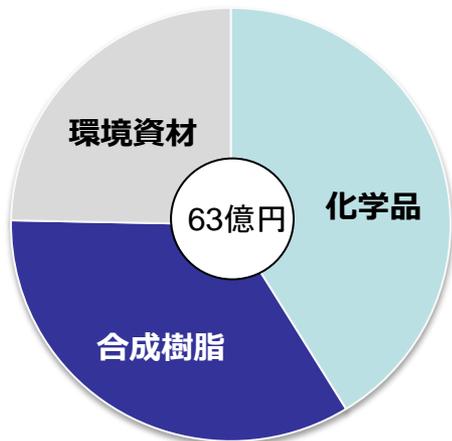
# 収益の内訳

当期純利益

2015/3期実績

2016/3期見通し

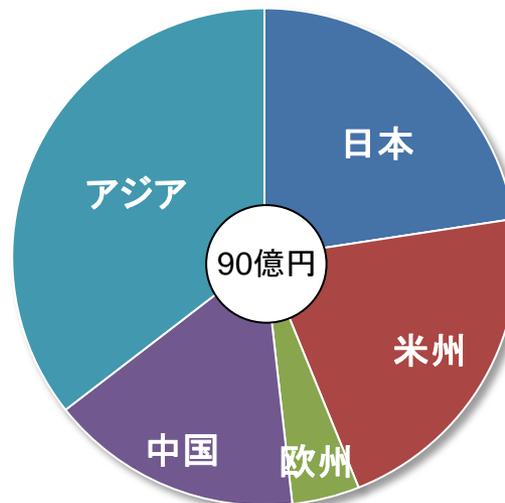
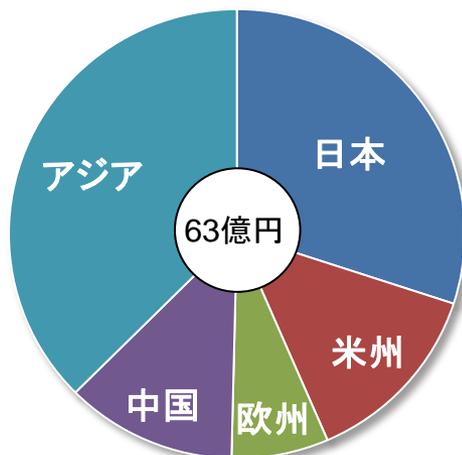
事業別



強みのある  
5つの事業領域

- メタノール
- 石油樹脂
- 工業塩
- 希少資源
- 合成樹脂

地域別



中国・米州地域で  
拡大を目指す



# 1. 石油樹脂事業

- 石油樹脂事業とは？
- 市場動向
- 当社の取組み・強み
- 現中計における取組み



# 1. 石油樹脂事業(石油樹脂とは)

ナフサ

石油化学製品の中でも、合成樹脂を除く重質留分関連事業

C1留分

メタン

アンモニア・メタノール



肥料

C2留分

エチレン

合成樹脂分野

ポリエチレン



フィルム

C3留分

プロピレン

ポリプロピレン



様々な樹脂製品

C4留分

ブタジエン

ABS樹脂



石油樹脂事業分野

C5留分

DCPD

サイメテック社

メトン樹脂

メトンアメリカ社



外装:フード

その他石油樹脂



接着剤

イソプレン

イソプレンゴム



タイヤ

インキ用  
接着剤

ピペリレン

タッキファイヤー

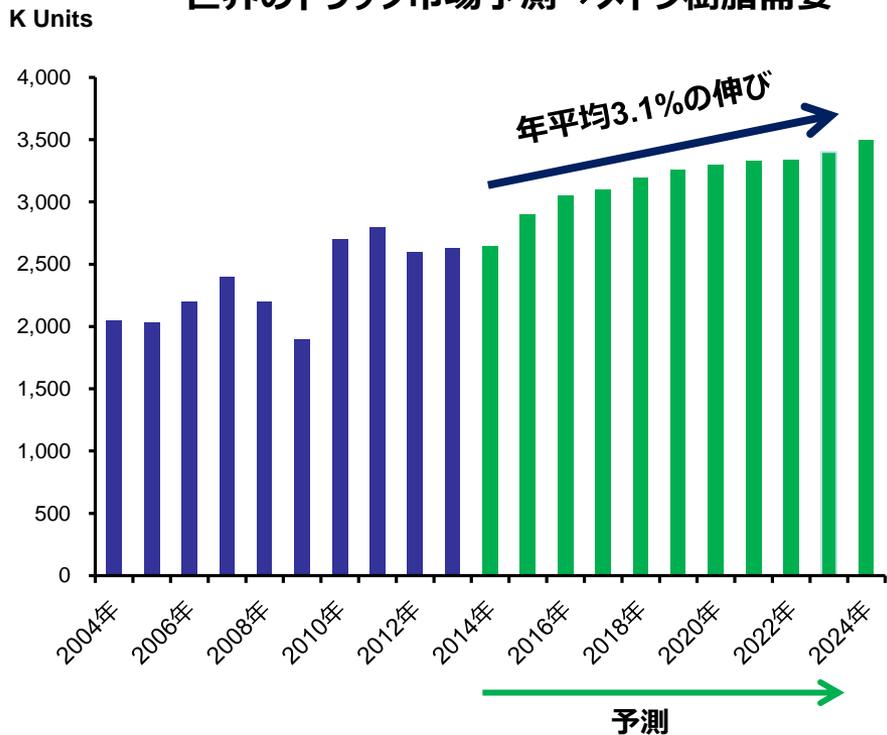


高次留分



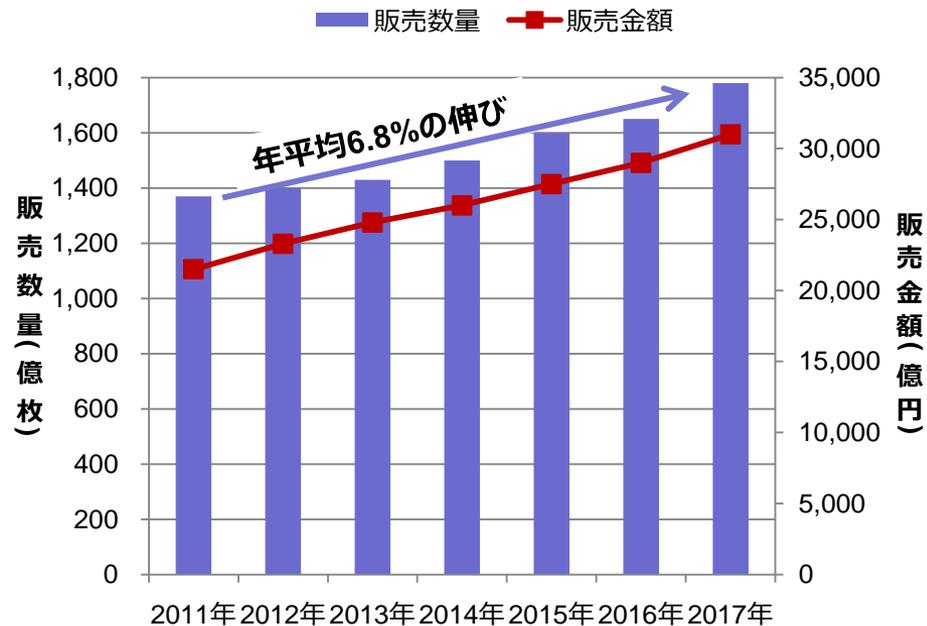
# 1. 石油樹脂事業(市場動向)

## 世界のトラック市場予測⇒メトン樹脂需要



出展: Deloitte Truck market 2024

## 世界の紙おむつ市場規模予測⇒石油樹脂需要



出展: 富士キメラ総研 ケミカルレポート2013年 5月

## 石油樹脂の需要は堅調に推移していく



# 1. 石油樹脂事業(当社の取組み・強み)

## 当社の事業領域

C5留分

流通

DCPD

流通

石油樹脂

流通

最終製品

シェールガス台頭による  
C5留分供給のタイト化



川上-川下間の需給ギャップ  
によりDCPDの価値上昇



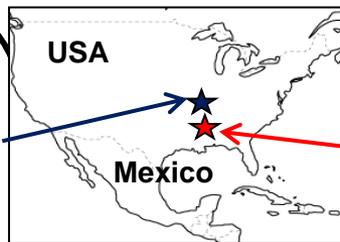
堅調な市場成長



- ▶ サイメテック社:出資比率100%
- ▶ 高純度DCPDの製造・販売

### 強み

- ◆ サプライソースの確保により、タイトなC5留分を安定的に調達
- ◆ 北米の限られたDCPD製造メーカーとしてプレゼンスを発揮



高純度DCPD

DCPD  
樹脂原料



- ▶ メトンアメリカ社:出資比率100%
- ▶ メトン樹脂の製造・販売

### 強み

- ◆ メトン樹脂製造会社は世界に2社のみ
- ◆ サイメテックとの一貫生産により競争力向上
- ◆ 北米を始め南米・欧州・ロシアへの当社販売機能

その他石油樹脂メーカー

## メーカーポジションで北米石油樹脂チェーンを構成



# 1. 石油樹脂事業(現中計における取組み)

C5留分サプライヤー



新規へ挑戦



石油樹脂需要家

タテ展開

- 新たな事業領域で強みを獲得

ヨコ展開

-サイメテック-

- 原料ソースの多様化  
⇒原料の安定調達
- 製造効率向上
- 副生品の有効利用  
⇒新規用途、顧客の開拓

-メトンアメリカ-

- 販売強化  
⇒ロシア・インド等新興国向け
- 製造効率向上
- 新製品開発

タテ×ヨコの面展開により北米石油樹脂チェーンの更なる強化



## 2. 合成樹脂事業

- 合成樹脂事業とは？
- 包装資材
- 自動車材料
- 現中計における取組み



## 2. 合成樹脂事業



包装資材



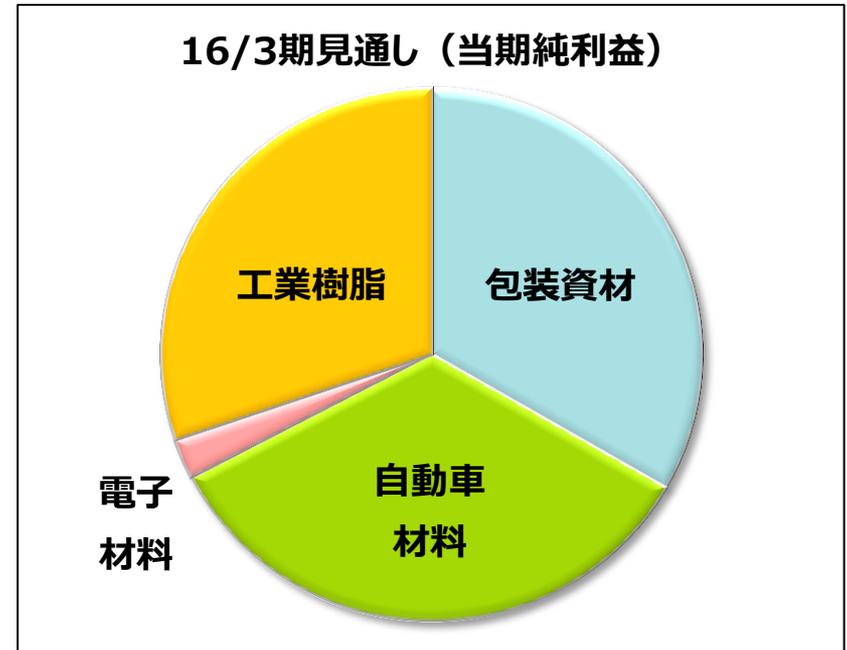
自動車材料



電子材料



工業樹脂



＜主要関係会社＞

日本：プラマテルズ／双日テクノプラス

米州：AMERICAN BIAXIS／SOJITZ PLASTICS AMERICA

欧州：BIAXIS OY

中国：高木自動車部品(佛山)／双日塑料(中国)／双日塑料(深セン)／旭化成(蘇州)複合塑料  
日超工程塑料(深セン)／日超工程塑料(北京)／超然製品廠／煙台三蝶塑料製品

4つの分野を柱とし、世界各国に販売ネットワークを有する



## 2. 合成樹脂事業（包装資材）

### 包装資材の主な用途

- ・食肉/加工食品の容器 ・レジ袋、ゴミ袋 ・ペットボトル
- ・医薬品包装 ・レトルトパウチ ・食品トレー(ナルホット)



耐熱性積層フィルムは外層・ポリエステル (PET) 中間層・アルミ箔 (AL) / 内層・無延伸ポリプロピレン (CPP) の三層式構造になっているのが一般的

### 取組み



Biaxis Oy  
(フィルム)



American Biaxis  
Inc.  
(フィルム)

- ✓ 現在は欧米を中心に展開
- ✓ ナイロンフィルムを製造するBiaxis(フィンランド)、American Biaxis(北米)に出資
- ✓ ハムやソーセージなどの加工製品の劣化を防ぐ高機能食品包材の販売に注力

### 強み

- ◆ 原料から製品までの包材チェーン
- ◆ バリア包材の海外商権基盤
- ◆ 国内有力メーカーとの強固な関係
- ◆ ヨーロッパ・アメリカでの実績



## 2. 合成樹脂事業（包装資材）

### ■ バリューチェーン

### 当社事業領域

樹脂製造

合成樹脂（プラスチック）を製造



流通

シート・フィルム製造

樹脂ペレットを加熱し圧延することでフィルム等を製造



流通

コンバーティング

最終製品に使用するために印刷、カット、粘着加工等の加工を施す



流通

最終製品化

樹脂フィルムを使用して最終製品を製造



事業内容

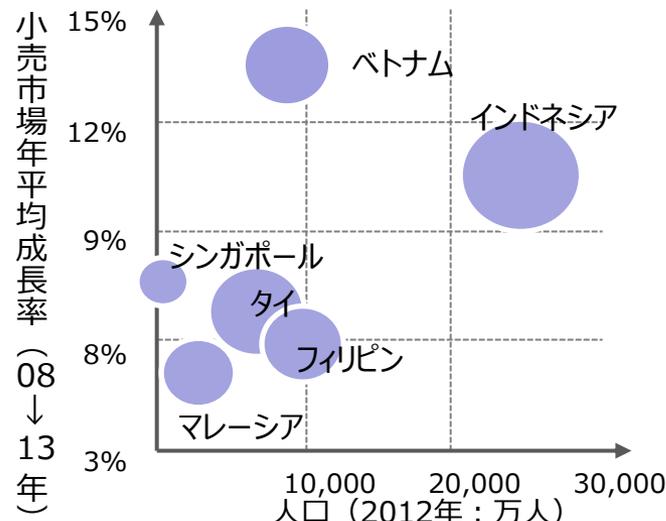
### — 戦略 —

注力市場⇒東南アジア

- ◆ 欧米で構築したバリューチェーンモデルをアジアにて展開
- ◆ 有力包材メーカーへの出資により、確たるパートナーとして物流益拡大を図るとともに、共同で海外展開を行う

## 東南アジア包材事業への参入を目指す

### 東南アジアの包材市場

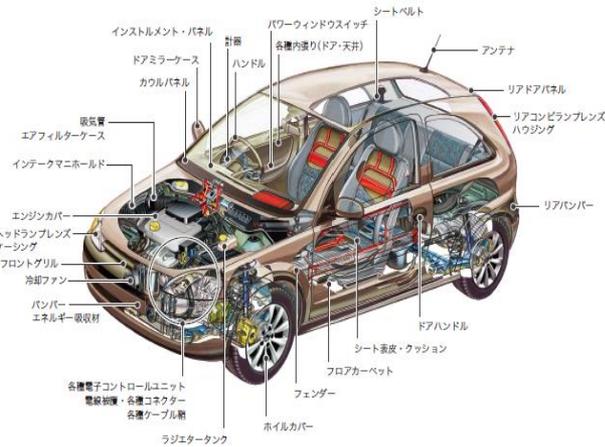


出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング資料

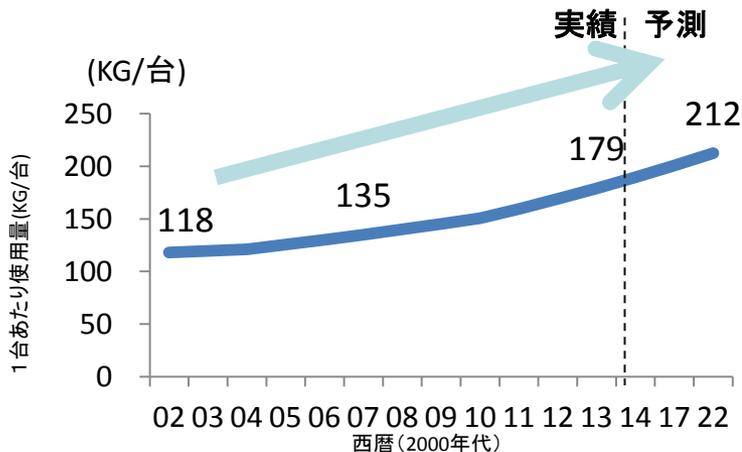


## 2. 合成樹脂事業(自動車材料)

### 合成樹脂で作られる自動車部品



### 車1台あたりの合成樹脂使用量



### 取組み



高木自動車部品(自動車部品)

- ✓ 流通をメインとし、コンパウンド事業や部品成型事業にも参画
- ✓ 中国において自動車用樹脂部品製造メーカーの高木自動車部品に出資
- ✓ コンパウンド～部品成型のバリューチェーンを構築

### 強み

- ◆ 日系自動車メーカー、部品メーカーとの歴史的な関係
- ◆ 専門知識の高い人材をインドネシア・タイ・中国に配置しているネットワーク



## 2. 合成樹脂事業（自動車材料）

### ■ バリューチェーン

当社事業領域

樹脂製造

流通

コンパウンド

流通

成型・部品

流通

最終製品化

合成樹脂（プラスチック）を製造

添加剤・充填剤を混ぜ合わせ用途に適した樹脂を製造

最終製品の部品・製品を製造

樹脂部品等とその他原材料・部品を用いて、最終製造品を製造

事業内容



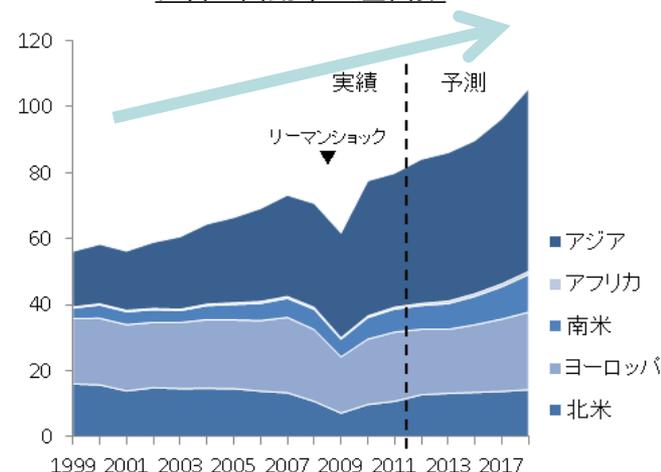
### — 戦略 —

注力市場⇒インド、メキシコ

- ◆ 中国で構築した事業モデルを他地域へ展開
- ◆ 国内、アジアを収益基盤とし、資金や人材を新興国に向け投資
- ◆ 物流収益・事業収益の両輪へとポートフォリオを転換

## 新興国を中心に販売数量を拡大

世界の自動車生産台数



1999 2001 2003 2005 2007 2009 2011 2013 2017

出所: 02-13年→OICA

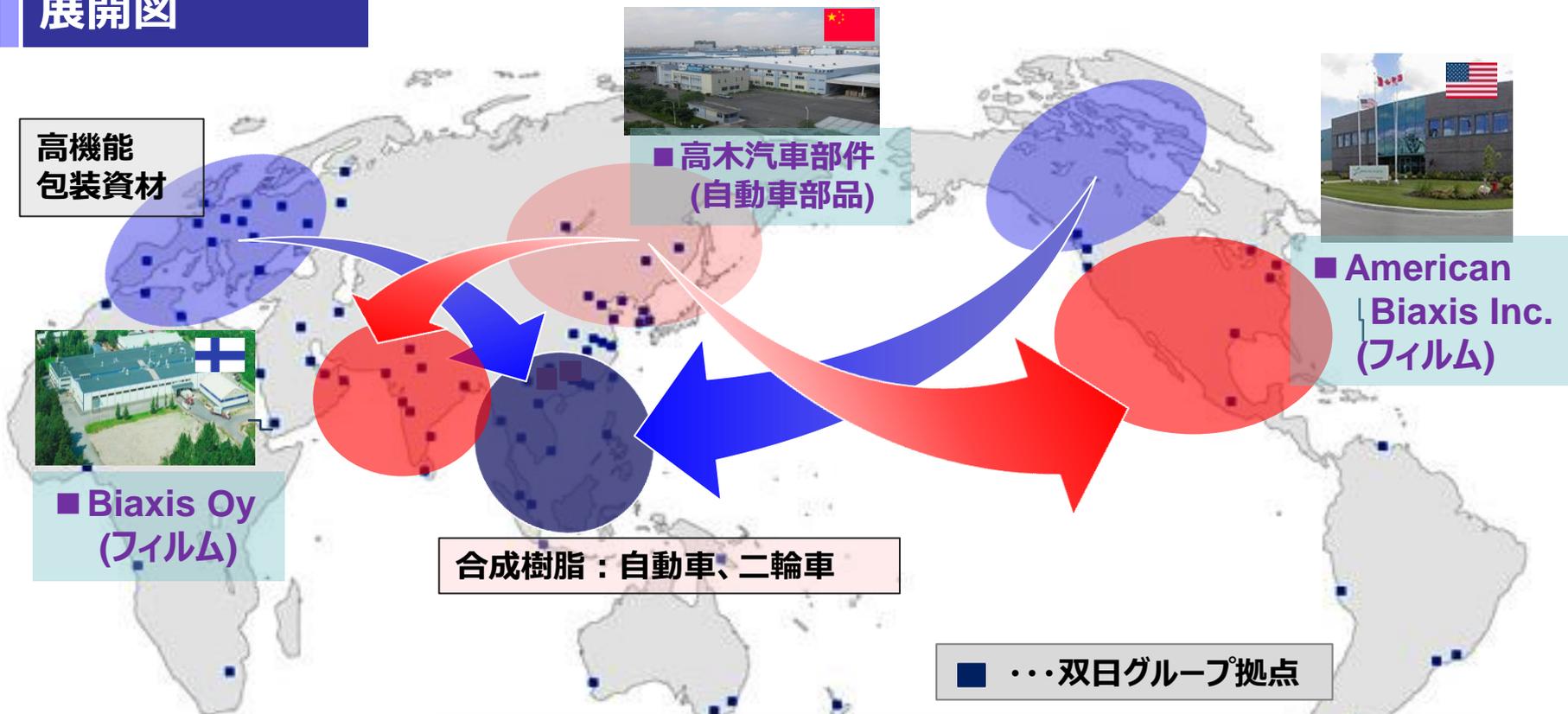
14-22年→世界自動車産業の生産・販売台数予測調査2013年版  
: 2022年の自動車産業 / アイアールシー



## 2. 合成樹脂事業（現中計における取組み）

～ 伸び行く需要を取り込む ～

### 展開図



今後の展開

- 包装資材は東南アジア、自動車材料はメキシコ、インドなどの新興国にて販売網を拡大
- 樹脂取扱数量を100万トンから150万トン体制へ



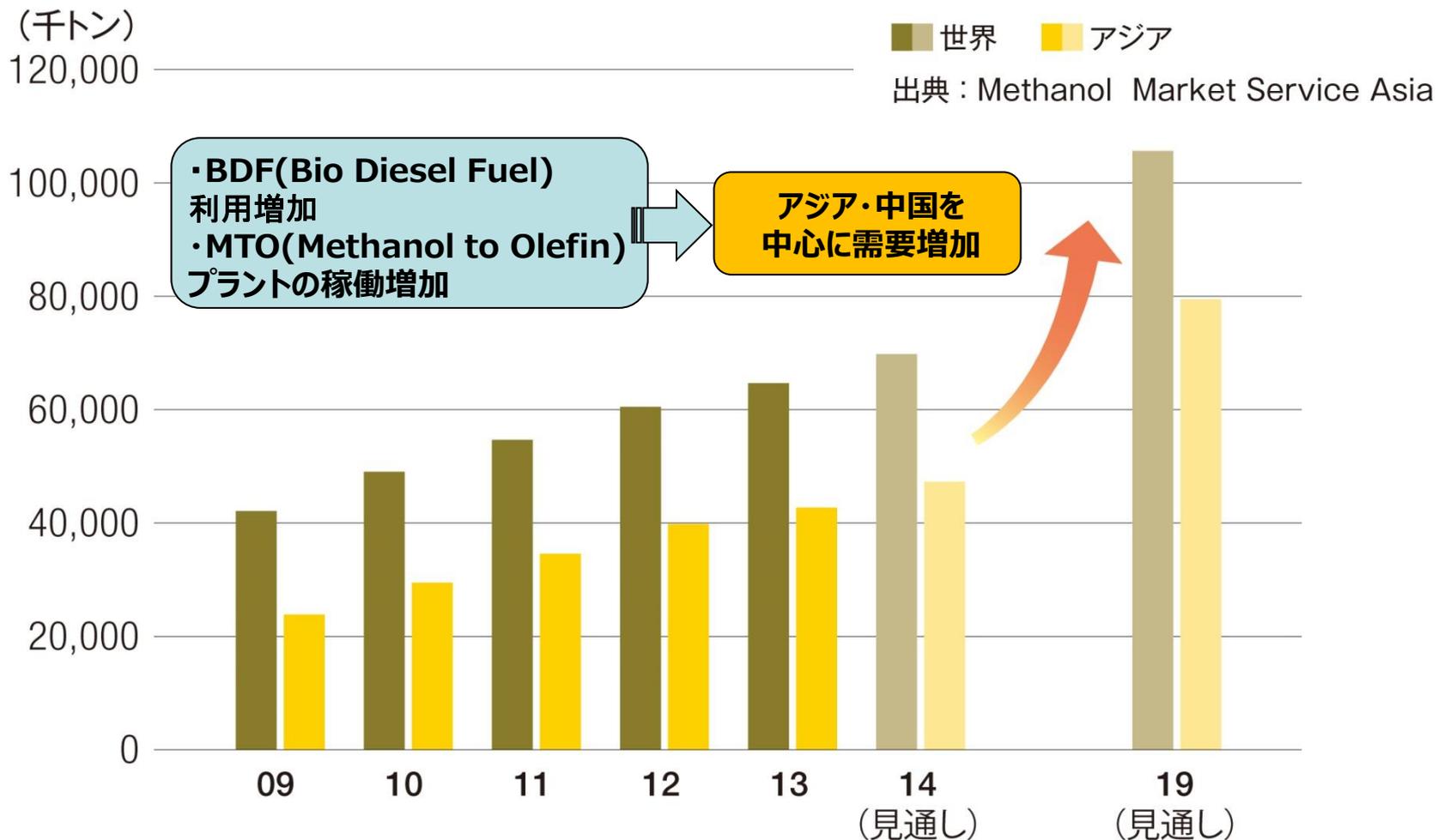
## 3. メタノール事業

- 市場動向
- 今後の方針





### 3. メタノール事業（市場動向）



拡大する旺盛なアジアでの需要



### 3. メタノール事業(今後の方針)

PT.Kaltim Methanol Industri (“KMI”) という製造工場を保有

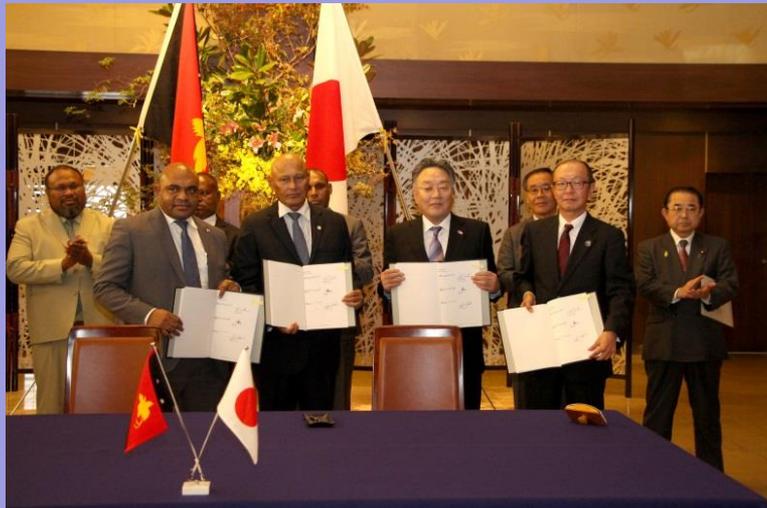
<出資比率>



- ・メーカーポジション
- ・工場運営ノウハウ



KMI@インドネシア



#### 第2-KMIの設立

<パプアニューギニアとの取組み>

2015年10月



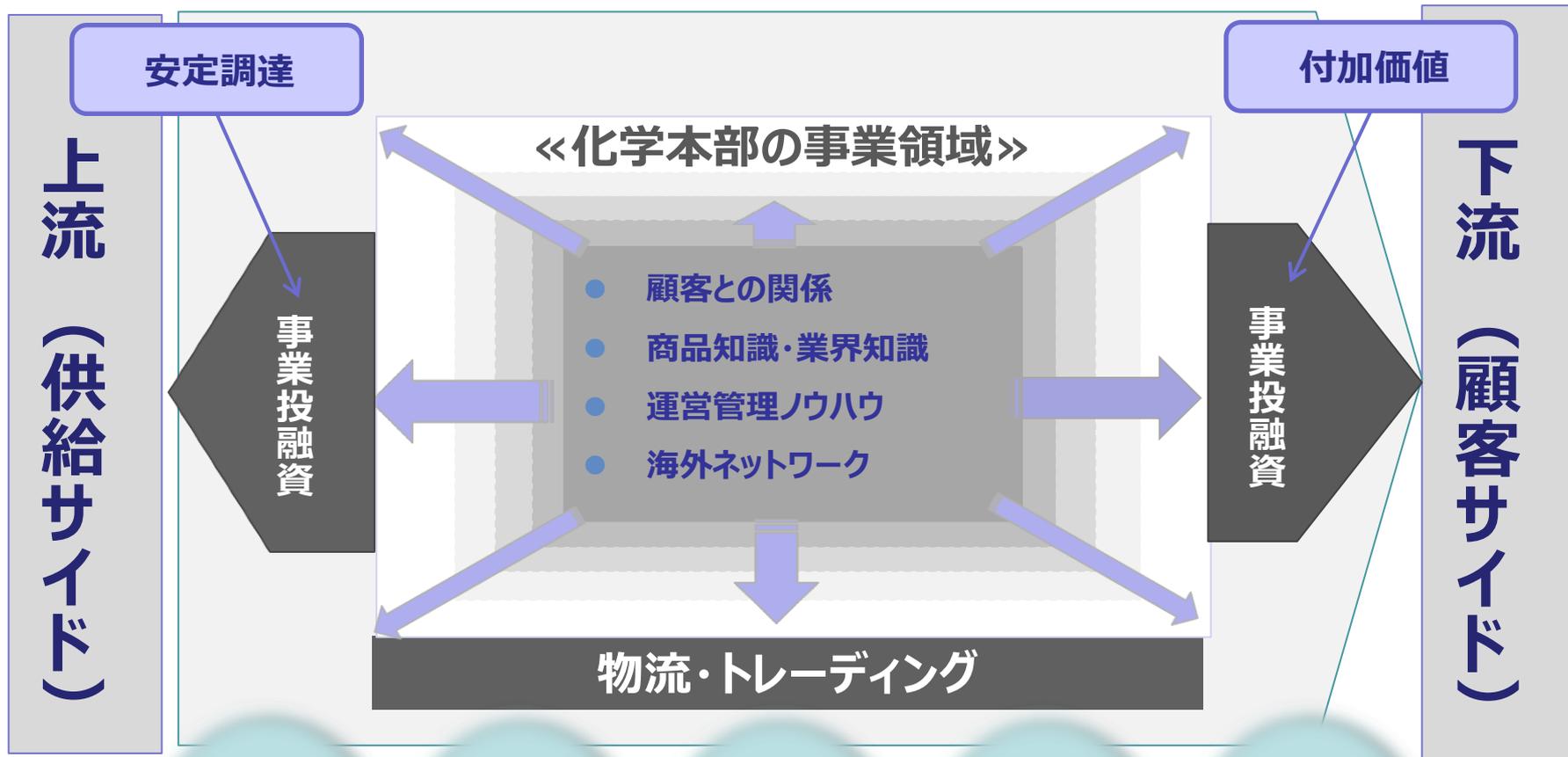
NPCP HOLDINGS LTD

国営石油公社『NPCP HOLDINGS LTD』と  
合弁会社設立について合意



# 成長戦略（まとめ）

## 物流・トレーディングと事業投融資による持続的成長の実現



メタノール

石油樹脂

工業塩

希少資源

合成樹脂



補足資料

---



# 化学本部 取扱品目・事業例

## 基礎化学品部

- ◆メタノール：インドネシアKMI社の85%を保有、事業運営
- ◆溶剤・液体ケミカル：国内2か所にタンクを保有し、国内シェアトップクラス

## 機能化学品部

- ◆ブタジエン：合成ゴムの原料、ブラジル・ブラスケン社と長期売買契約
- ◆樹脂・合繊原料：双日プラネット社を通じて世界規模での事業展開

## 資源化学品部

- ◆レアアース：中国からの輸入に加え、豪州ライナス社への出融資を実行
- ◆リチウム化合物：日本でのマーケティングおよび販売で30年以上の実績
- ◆工業塩：インド塩、豪州塩の取扱いで日本におけるシェアトップクラス

## 先端材料部

- ◆アグロサイエンス：農薬を中心とした農業資材供給を軸に拡大

## 関西事業部

- ◆バライト：鉱山の権益を取得し、日系企業として初めて精製・販売を手掛ける
- ◆化粧品：双日コスメティックス社で独自のエイジングケアブランドを展開

## メディカル・ヘルスケア 事業推進室

- ◆メディカル・ヘルスケア：病院・医薬品事業を軸に取組みを進める



***sojitz***

***New way, New value***